

## 1 はじめに

### 背景と目的

- 兵庫県では、地域で地球温暖化防止活動をはじめとした環境活動を行っているNPO 団体・市民団体が連携し地域活動支援を行い、CO2 削減を図る取り組み（以下、本事業）が進められている。本事業は、環境省の補助を受けて地球温暖化防止に向けた地域の活動を支援するものである。
- 本事業は平成23年度にスタートし、年を重ねるごとに活動内容や対象地域の見直しや追加を行い、平成27年度で5年目となった。
- 本発表は、5年目の区切りとして、本事業の歩みや成果を報告することを目的とする。

### コンソーシアムの概要

- 環境省「地域活動支援・連携促進事業」の補助対象として、コンソーシアムを設立し、事業を実施する。
- 地域で活動する団体の実践活動を支援することにより県民の「スマートムーブの実践」を先導することを旨とする組織（図1）。

活動年度	対象地域	コンソーシアム名
H23年度	明石市*、淡路地域*、加東市*	ひょうごエコドライブ推進コンソーシアム
H24年度	明石市*、淡路地域*、加東市*	
H25年度	明石市、淡路地域*、加東市、高砂市、加古川市*	ひょうごスマートムーブ推進コンソーシアム
H26年度	明石市、淡路地域*、加東市、播磨町*、川西市+	
H27年度	明石市、加東市、川西市+、豊岡市+	

\*：エコドライブ活動のみ、+：ノーマイカー活動のみ、無印：両活動

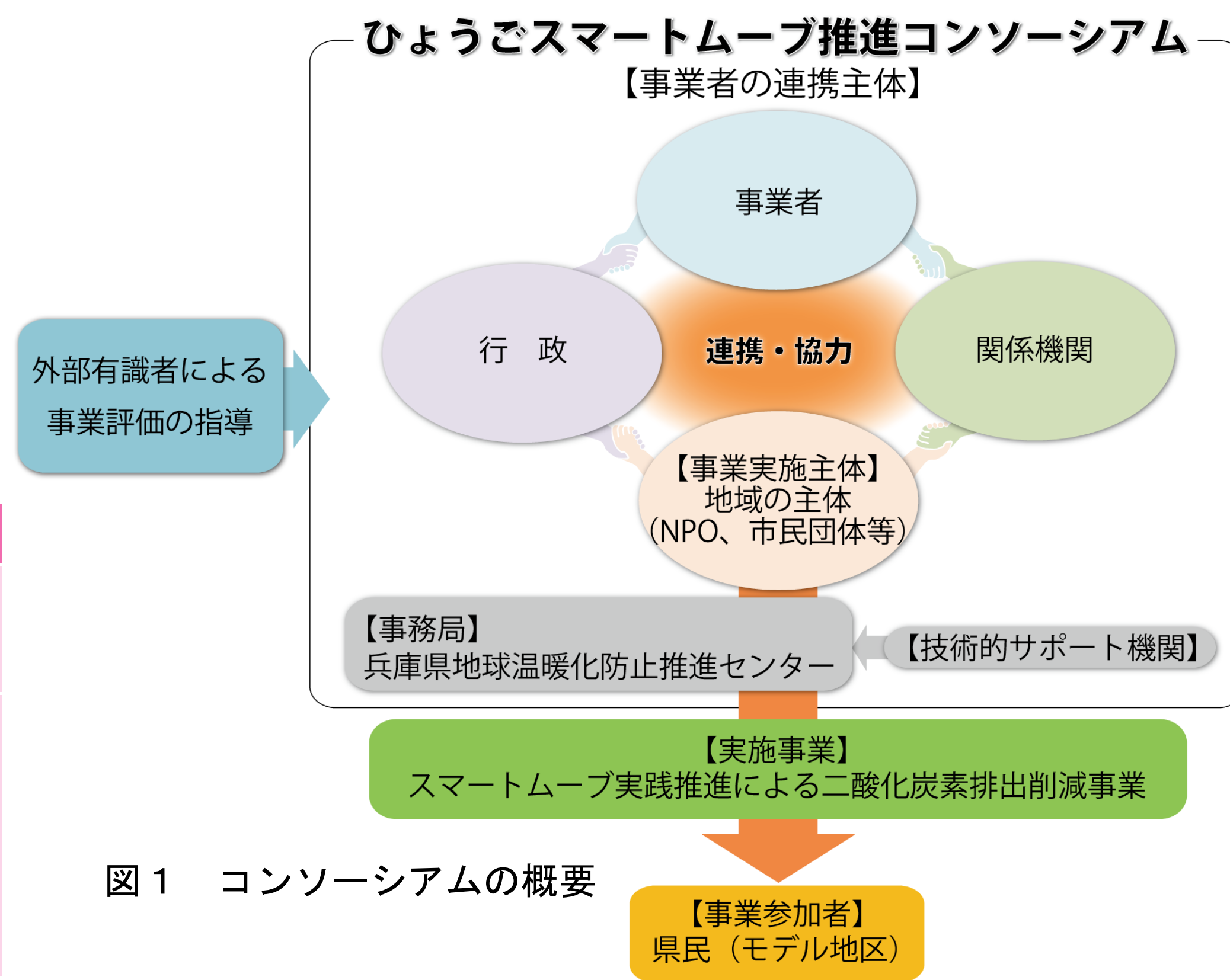


図1 コンソーシアムの概要

## 2 5年間の取り組みの歩み

### ①エコドライブ活動（平成23年度～平成27年度）【記録用紙方式・SDカード方式・スマートフォン方式】

#### 1年目は記録用紙とSDカード方式でスタート

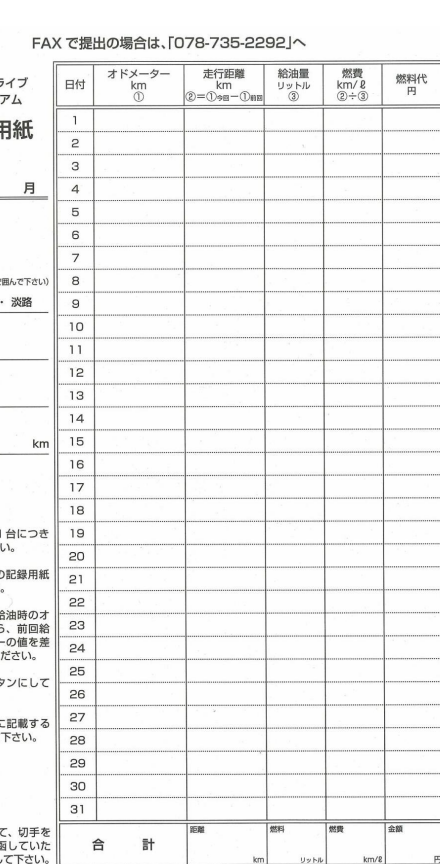


図2 使用した記録用紙 図3 SDカード方式燃費計

- 「記録用紙（図2）方式」と「精緻な評価とリアルタイムな情報提供が可能な燃費計測器（図3）：SDカード方式」を提供。
- 多様なニーズ（詳細な評価を希望、簡単な評価を希望）の満足と参加者数確保に貢献。

#### 2年目にスマートフォン方式導入【当時では国内初の取り組み】

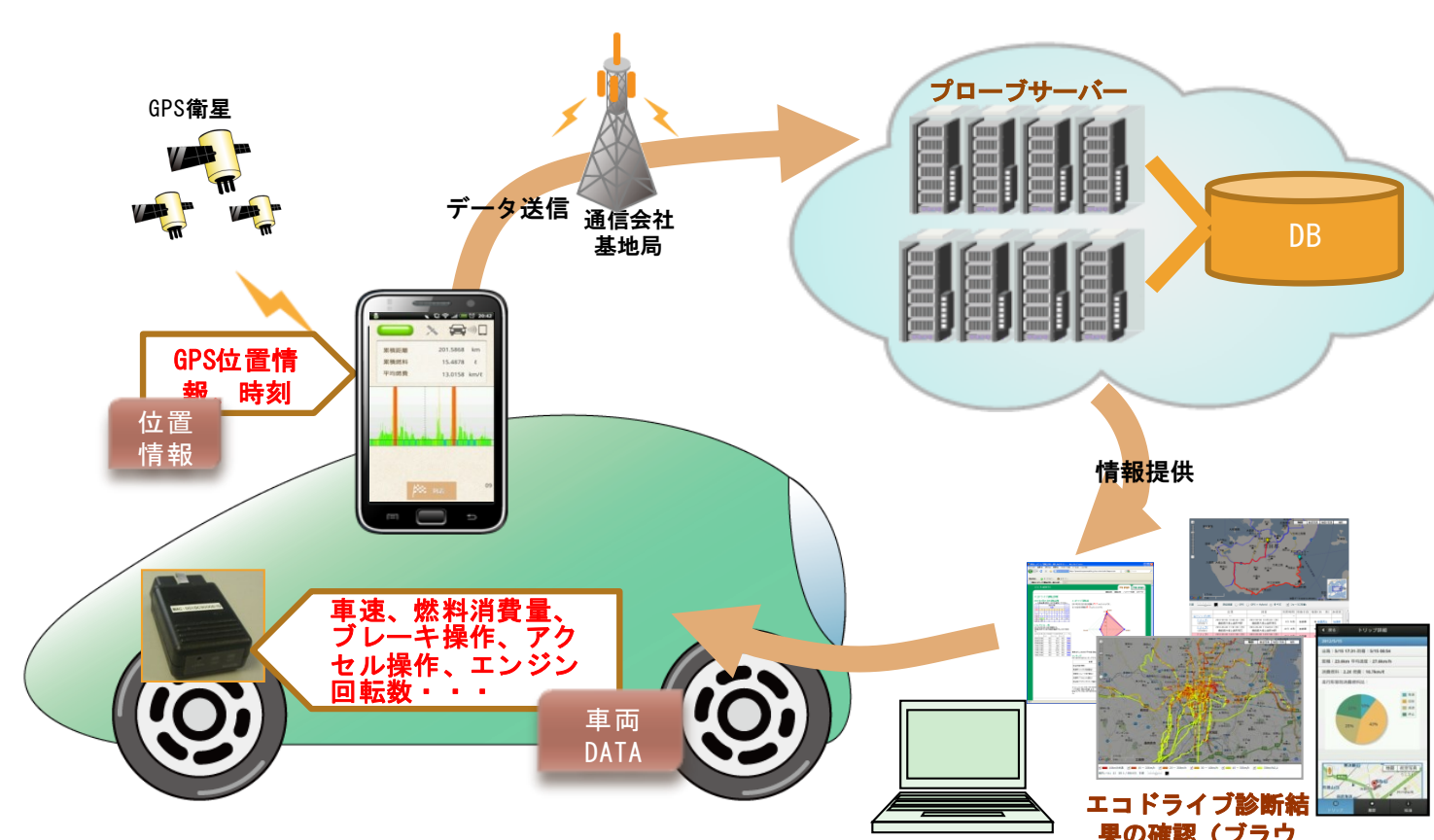


図4 スマホ方式の燃費計測イメージ

- スマートフォン（貸与）と無線LANによる通信技術を用いた方式。スマホの画面にはリアルタイムでの運転診断結果を表示（図4）。
- 利用者の意見を取り入れて使いやすさを改善。4年目にはモニタ所有のスマホを利用可とした。

#### 勉強会・講習会等の学習機会の創出



図5 H23勉強会の様子



図6 H24勉強会の様子

- エコドライブの実践方法の講義（実技、座学）や、参加者同士がエコドライブ実践時の工夫等の意見交換を行う勉強会を開催（図5）。
- 2年目にはEVやPHVを使った勉強会とあわせて、HEMS（Home Energy Management System）について学ぶ機会を創出（図6）。
- エコドライブだけでなく家庭でのCO2排出削減についても理解を深める。

▶ 先進技術を取り入れて改善し使いやすさ向上。意識啓発のための学習機会の創出。

### ②ノーマイカー活動（平成25年度～平成27年度）【エコ通勤型活動・超小型モビリティ（EV）型活動】

#### 3年目にエコ通勤型活動を開始

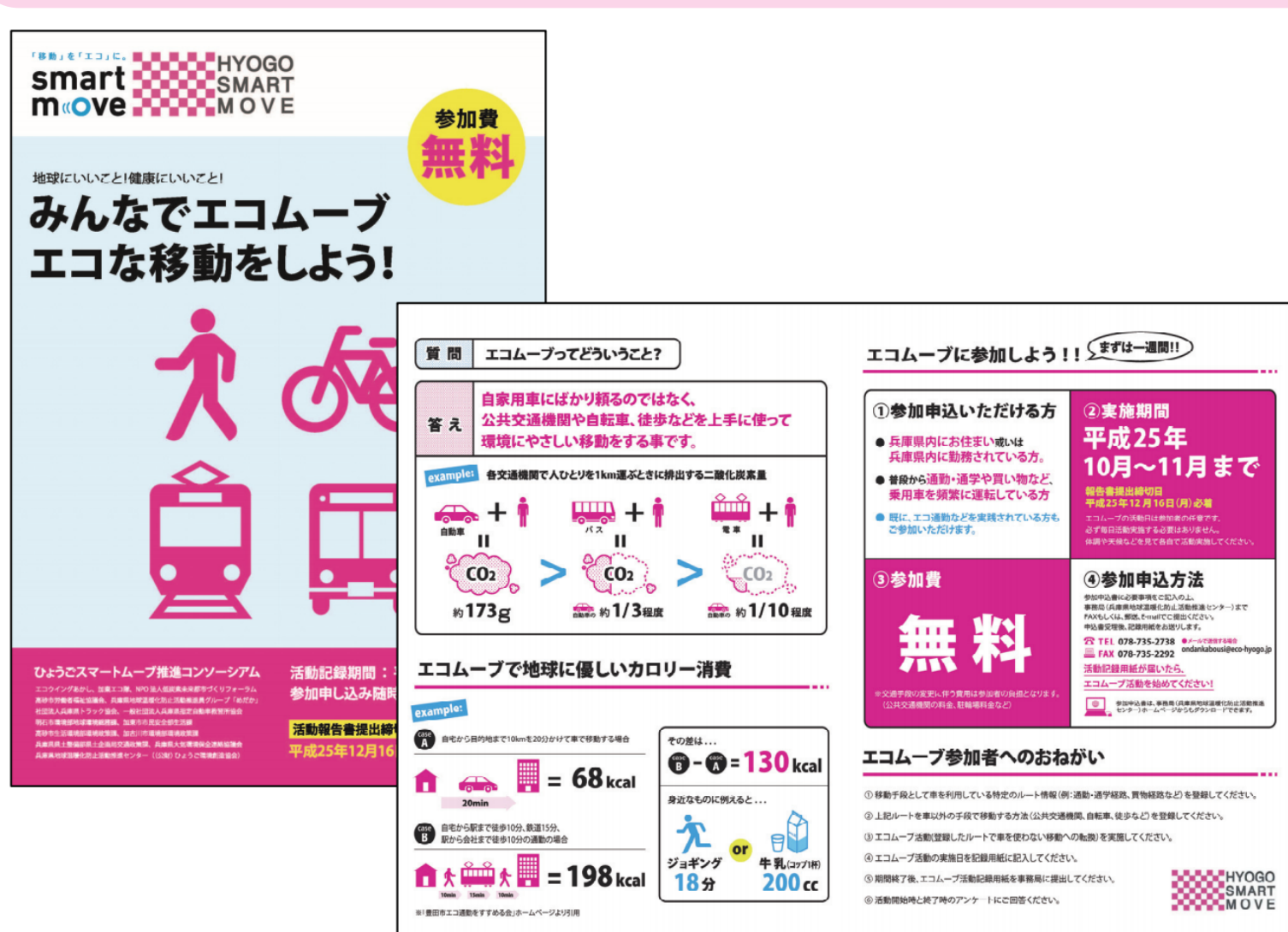


図7 エコムーブ活動案内

- 活動の対象を、それまでの「クルマを使ったエコ交通（エコドライブ）」に加えて、「クルマを使わないエコ交通（エコムーブ）」を追加して拡大し、取り組み全体をスマートムーブ活動と命名（図7）。
- エコムーブは「公共交通機関や自転車、徒歩などを上手に使うことで環境に優しい移動」をすること。参加者はエコムーブ実践日を記録用紙にて報告。
- 本事業のノーマイカー活動にて一部を支援した川西市地域での取り組みが、「平成28年度JCOMMマネジメント賞」を受賞！

#### 4年目には超小型EV型活動を開始



図8 超小型EV利用状況



図9 超小型EV利用者意見交換会

- 超小型EV（図8）を数ヶ月間、市民や行政機関、企業等に貸出し、利用していただき、電力計を設置して電気使用量を計測。電気使用量からCO2排出量を計測し、自動車利用時と比較してCO2削減量の評価を実施。
- 超小型EV利用時の情報共有等のため勉強会を開催（図9）。
- H26年度の取り組み参加者は、約85%が活動に使用した超小型EVを知らなかったと回答した。また、利用後に全体の半数以上が、従来の自動車等の移動の仕方を考えなおすと回答しており、自動車以外の新たな移動手段の存在をPRできた。

▶ 新規活動を柔軟に取り入れ取り組みを拡大。先進技術も積極活用し参加者の関心を集める工夫。

## 3 5年間の取り組みの成果

### 5年間にのべ20地域で活動！

- エコドライブ活動には述べ247名が参加し、エコドライブ技術の習得やCO2削減に貢献。
- ノーマイカー活動では、エコ通勤型活動や超小型モビリティ型活動により、行動の変容やCO2削減に貢献。
- これらの活動により市民のスマートムーブに対する意識を高めるとともに、右のような市民の自主的な活動を創出。

### 市民の自主的な活動に発展！

- 地域のNPOや行政機関が主体となり、環境を啓発するためのフォーラムや、エコな交通に転換を促す取り組みを自主的に展開（図10、11は一例）。
- その他、地域の活動やイベントと連携した様々な活動（勉強会等）も展開。



図10 環境フォーラムの様子（加東市）



図11 川西市クールチョイス

### 活用できるツール等を蓄積！

- 本事業で使用した計測器類や、本事業に合わせてNPO等が作成した環境資材等を蓄積し、今後の活動も支援！（図12、13は一例）。



図12 環境資材



図13 交通エコマップ

▶ 本事業による活動の効果に加えて、今後のさらなる自主的活動の広がりを支える基盤を整備。